取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

日立 全自動 電気洗濯機
NW-42FF 形

このたびは日立全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、据付説明書・洗濯機設置時のチェックシート・保証書とともに大切に保存してください。

もくじ

		ページ	
安全上のご注意		2	お洗濯の前に
各部のなまえ		5	
操作パネルのはたらき		6	
お洗濯を始める前に		8	
洗濯量と洗剤量について		10	洗濯量と洗剤
液体洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤を使う		12	
粉石けん（天然油脂）を使う・お湯を使う		13	
洗濯物の種類と全自動コースの選びかた		14	いつものお洗濯
簡単おまかせお洗濯	「標 準」コース	15	
強めの水流で洗う	「念入り」コース	16	
ドライマーク表示の衣類を洗う	「ドライ」コース	17	
毛布を洗う	「毛 布」コース	20	いろいろなお洗濯
予約運転を使って洗う	「予約9時間後」コース	21	
お好みで洗濯する		22	
干し時間を短縮	「風乾燥」	24	
洗濯行程について		26	
洗濯液を２度使う・洗濯のりを使う		27	
お手入れのしかた	「槽洗浄」コース	28	お手入れ・アフターサービス
	「槽乾燥」コース	29	
使用上のご注意		31	
チャイルドロック(いたずら防止モード)について		31	
据え付け		32	
故障かなと思ったら		34	
保証とアフターサービス		37	
別売り部品		38	
仕様		40	

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

★ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で　区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⊘	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警　告

分解禁止

分解したり修理・改造しない
- 火災・感電・けがの原因になります。
- 修理は、販売店にご相談ください。

電源

定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
- 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

アース接続

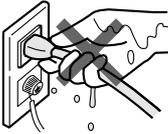
アース線を取り付ける
- アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

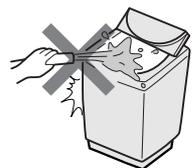
水場禁止

浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
- 感電や漏電による火災の恐れがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
- 感電の原因になります。

禁止

お手入れするときなどでは、本体各部に直接水をかけない
- ショート・感電の原因になります。

禁止

洗濯・脱水槽が完全に止まるまでは、中の洗濯物に手などを触れない
- ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

禁止

洗い・すすぎ中の洗濯・脱水槽には手を入れない
- ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをする恐れがあります。
(洗濯・脱水槽内に手を入れる場合は、一時停止させて完全に停止してから行ってください)
- 洗いの終了時や排水開始時には、洗濯・脱水槽が低速で回転しますので、特に注意してください。

注意

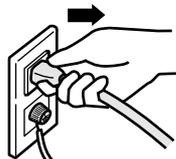
傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
- 感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない
（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・本体の脚で挟み込むなどしない）
- 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

⚠ 警　告

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

●感電やけがをすることがあります。

動かなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する

●感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

注意

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

●感電やショートして発火することがあります。

清掃

電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく

●火災の原因になります。

禁止

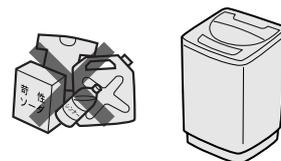
幼児に洗濯・脱水槽の中をのぞかせない　また、洗濯機の近くに台を置かない

●洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをすることがあります。

禁止

引火物は洗濯・脱水槽に入れない、近づけない

（**灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールやそれらの付着した洗濯物**）

●爆発や火災の恐れがあります。

火気禁止

ローソク、蚊取り線香、煙草などの火気を近づけない

●火災の恐れがあります。

禁止

防水性のシートや衣類は、洗い・すすぎ・脱水・風乾燥をしない

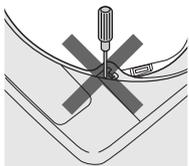
●洗濯物が傷んだり、脱水中に異常振動して、けがをする恐れがあります。

― 例えば ―

釣り具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、ダウンジャケットなどや水を通しにくいふとんカバー、シーツ類、裏地のあるバスマット、マット類など

禁止

チャイルドロック機構部の穴にドライバーなどを押し込まない

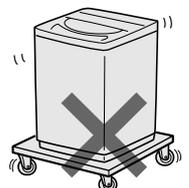
●破損や故障の原因になったり、洗濯・脱水槽が回り出し、けがをする恐れがあります。

禁止

運転中は洗濯機の下に手足を入れない

●回転部があり、けがをする恐れがあります。

禁止

キャスターのついている台や、不安定な場所に洗濯機を据え付けない

●運転中の振動で移動したり、転倒する恐れがあります。

禁止

洗剤を入れ過ぎない

●洗剤は規定量を守ってご使用ください。入れ過ぎると泡が大量に発生して本体が故障し、水漏れや感電をする恐れがあります。

安全上のご注意（続き）

⚠ 注　意

禁止

温水を使用する場合、50℃以上のお湯は使用しない

- プラスチック部品の変形や傷みにより、感電や漏電の恐れがあります。

禁止

洗濯機の上にのぼったり、重いものを載せたりしない

- 変形・破損によりけがをする恐れがあります。

長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

水漏れ

洗濯機を使用しないときは、水栓を閉じておく

- 万一の水漏れを防ぐためです。

水漏れ

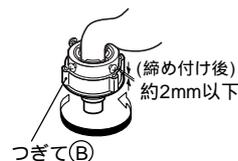
給水ホースの本体接続のユニオンナットはしっかり締め付ける

- 水漏れの原因になります。
- 長期のご使用でユニオンナットが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合にはさらに締め付けてください。

水漏れ

ワンタッチつぎてを使用し、つぎて Ⓑ をしっかり締め付ける

- 付属品以外のつぎてを使用すると水漏れの原因になります。
- 長期のご使用でねじやつぎてが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、ゆるんでいる場合にはさらに締め付けてください。

水漏れ

洗濯前は水道栓を開いて、水漏れがないか給水ホースの接続を確認する

- ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

「念入り」コースでお洗濯するとき、傷みの気になる衣類は洗わない

- 衣類を傷める恐れがあります。

水漏れ

洗濯機を据え付けるときは、排水ホースの色目印を本体の端に合わせる(右出し：紫色、左出し：緑色)

- 内部で緩んでいると、他の部品と接触し、ホースが破れて、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

ふたなどのプラスチック部品や本体外枠に洗剤（特に液体洗剤）がついた場合は、湿った柔らかい布ですぐにふきとる

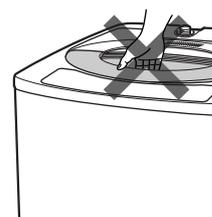
- そのまま放置すると、プラスチック部品が破損し、けがをする恐れがあります。また、本体外枠にはシミなどの「あと」が残る場合があります。

断水後や一度給水ホースを外して再取り付けした場合は、水栓を閉め、「槽洗浄」コースを選んでスタートボタンを押してからゆっくり水栓を開く(長期間使用しなかった場合も同様)

- 給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により、本体が破損し、水漏れやけがをする恐れがあります。

禁止

ロックされた状態のふたを無理に開けない

- ふたやロック機構部が破損したり、洗濯・脱水槽の回転が止められなくなり、けがをする恐れがあります。

禁止

衣類の異物(マッチ棒、ヘアピン、硬貨など)は取り除く(ポケットの中も忘れずに)

- 衣類を傷めたり、故障の原因になります。

各部のなまえ

（☞のあとの数字は主な説明のあるページです）

洗濯・脱水槽

バランスリング

糸くず取りフィルター ☞29

ソフト仕上剤注入口 ☞12

かくはん翼

ふた

漂白剤 液体洗剤 注入口 ☞12

除湿形乾燥機用排水口 ☞33

ホース掛け(穴)

チャイルドロック機構 ☞7

操作パネル ☞6、7

電源コード

アース線

調節脚 ☞据付説明書

〔前側の脚の高さを調節できます。〕

排水ホース

操作パネルのはたらき

洗剤量・水量表示

ランプの点灯と点滅で、洗剤量と水量の目安を表示します。

- コンパクト粉末洗剤(アタック)を基準にしています。洗剤量については、☞10の表に従うか、洗剤容器に記載されている「使用量の目安」をご参照ください。
- 「43L」は点灯、「37L」は点滅、「29L」は点灯、「20L」は点滅します。(無段階に設定されますが、表示は4段階で行います。)

洗濯内容表示

洗い、すすぎ、脱水の各ランプが点灯と点滅で洗濯内容をお知らせします。

- 運転中は、各行程のランプ点灯で進行状況をお知らせします。
- 注水すすぎ設定時は、すすぎのランプが点滅となります。

風乾燥表示

「30分」「90分」「120分」のいずれかを表示します。

※「120分」表示は「30分」と「90分」のランプを両方点灯させます。

コース表示

選んだコースが点灯します。コースボタンを押すごとにランプの点灯が移動します。

標準 → 念入り → ドライ → 毛布 → 槽洗浄 → 予約9時間後 → 標準

水量ボタン

水量をお好みで設定するときや、洗い・すすぎ中に水を足したいときに使います。☞22

- スタート後の変更は、洗い、すすぎが終わるまでの間、受け付けます。一時停止してから行ってください。
- 洗いやすすぎ中に水を足したいときは、ボタンを押し続けている間給水します。「43L」に達すると、それ以上は給水しません)
- 風乾燥のみ設定時は受け付けません。

行程ボタン

「洗い」のみ、「脱水」のみ、「注水すすぎ」などお好みで洗濯するときに使います。☞23

- スタート後は変更できません。
- 風乾燥のみ設定時は受け付けません。

風乾燥ボタン

「標準」「念入り」「毛布」「予約9時間後」コースのあとに洗濯から継続して風乾燥(30分)を設定するときや、風乾燥のみ(「30分」「90分」「120分」)を設定するとき、槽乾燥(30分)を設定するときに使います。☞24、29

- スタート後は変更できません。

- 水量の「43L」、「風乾燥」(30分)設定、コースの「標準」設定、行程の「洗い」「すすぎ」「脱水」を設定したときに2回続けて受け付け音がします。(各ボタンの設定切り換えの基準点をお知らせするためです)

終了ブザーが気になるとき

毎回設定を行ってください。

次の手順でブザーを消すことができます。

1 **電源を入れる。**

2 **スタートボタンを3秒以上押す（ピーピッピッピーとブザーが鳴り、音なしになります）。**

- 再びブザーを鳴らす場合には、再度1～2の操作を行ってください。
  （ピッピッピッピーとブザーが鳴ります）
- 電源を切ると設定が解除され終了ブザーありになります。

注意 設定と同時に、運転がスタートします。

チャイルドロックについて

万一のけがや小さいお子様の安全のために洗いのかくはんが終わったあとは、自動的にふたがロックされ、「ふたロック中」のランプが点滅します。
運転が終了すると、自動的にロックが解除されます。

ふたを開けたいときは

スタート/一時停止ボタンを押す。 ⇒ **運転動作が止まるとロックを解除します。**

再スタートすると

脱水中に一時停止し、再スタートした場合はすぐにふたがロックされます。
それ以外の場合は、洗いのかくはんが終わるとふたがロックされます。

■運転中はつねにふたをロックするような設定もできます。
ただし、電源を切ると設定は解除されます。
(いたずら防止モード ☞ **31)**

ふたロック表示

ふたがロックされているときは、「ふたロック中」のランプが点滅します。
■ただし、次の場合はランプが点滅していても、ふたはロックされていません。

- 電源プラグを差し込んで最初に電源を入れたとき、各表示のランプが点灯するまでの間。
- 脱水の回転が停止して、終了ブザーが鳴り、自動的に電源が切れるまでの間。

これっきりボタン スタート/一時停止

スタートや一時停止に使います。

コースボタン

洗濯物や汚れに応じた6種類のコースが選べます。
☞ **14**

- 選んだコースをランプが点灯し表示します。

電源ボタン

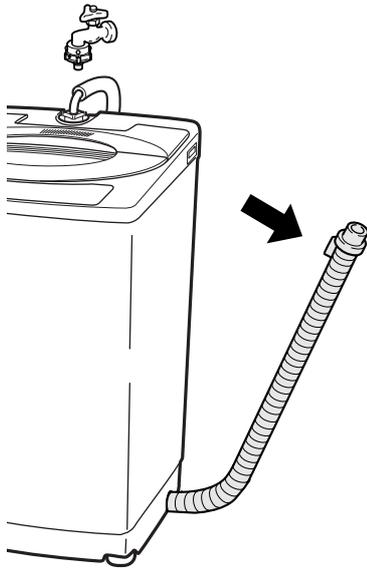
電源の「入」「切」に使います。

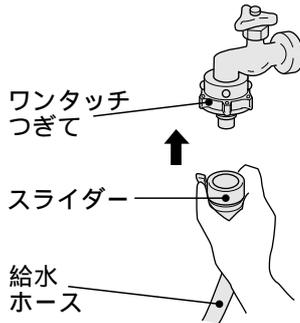
- 電源を「入」または「切」にすると「ふたロック中」のランプが点滅します。このとき、電源ボタンは受け付けません。(洗い、すすぎの給水またはかくはん中に電源を「切」にしたときや再度「入」にしたときは点滅しません。)
- 運転が終わるとブザーが鳴り、「ふたロック中」のランプが点滅して電源が自動的に切れます。
  (オートオフ機能 ☞ **34**)

- 電源「入」後または運転中に２つ以上のボタンを同時に押さないでください。
  誤動作し、故障の原因になります。

お洗濯を始める前に

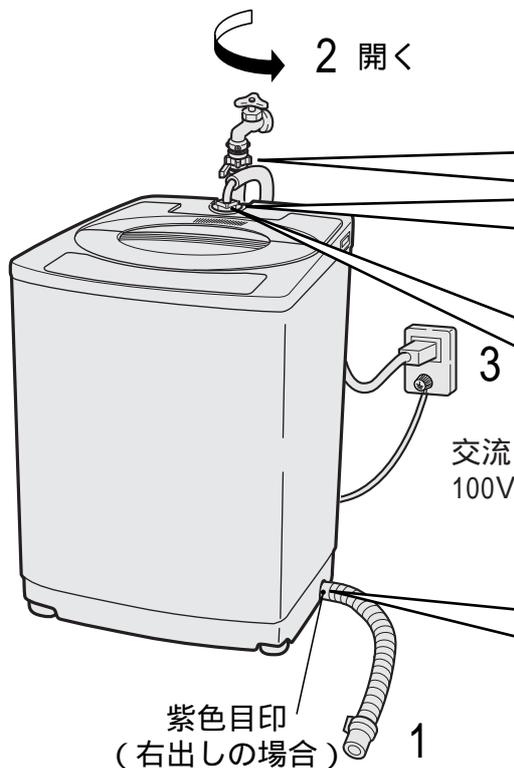
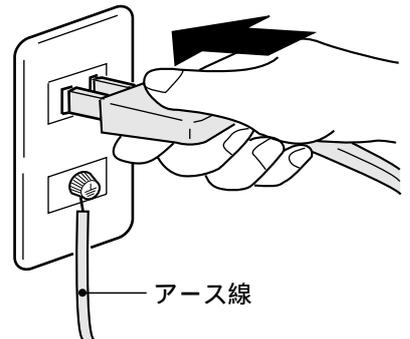
洗濯機の準備

1 排水ホースを倒す

排水ホースの先端をしっかりと排水口に入れてください。

2 給水ホースを接続し、水栓をゆっくり開く

1 **スライダーを押し下げ、ワンタッチつぎてに差し込む。**

2 **スライダーを離して、「パチン」と音がするまで、給水ホースを押し上げる。** 33

3 電源プラグをコンセントに差し込む

アース線

⚠ 注　意

お洗濯前に、水栓を開いて給水ホースの接続を確認する。
- ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
- 付属品以外のつぎてを使用すると、水漏れの原因になります。

給水ホースの本体接続のユニオンナットはしっかり締め付ける。
- ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

洗濯機を据え付けるときは、排水ホースの色目印を本体の端に合わせる。
（右出し：紫色、左出し：緑色）
- 内部でたるんでいると、他の部品と接触し、ホースが破れて、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

洗濯物の準備

ひもは結んで、ファスナーは閉める

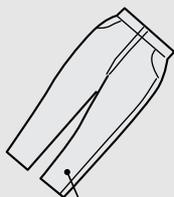
● 衣類やファスナーの傷みを防ぐためです。

毛玉や糸くずが気になるものは裏返す

大きなゴミ、どろや砂、髪の毛、ペットの毛は取り除く

衣類の異物は取り除く(ポケットの中も忘れずに)

● 衣類を傷めたり、故障の原因になります。

色落ちしやすいものは分けて洗う

● 青いジーンズなどはかくはん翼で擦られると色落ちする恐れがあります。

デリケートな衣類はネットに入れる

レースのついた衣類やブラウス、ブラジャーなどは念のため市販の洗濯ネットに入れて洗ってください。

● 万一の衣類の傷付きを防ぐためです。

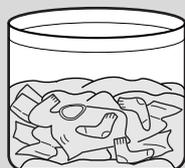
糸くずが気になるものはネットに入れる

コーデュロイなどの特殊加工衣料や黒いストッキングなど糸くずの付着が気になるときは、市販の糸くず防止用「洗濯ネット」に入れて洗ってください。

しみは早めに処理しておく

しみは時間がたつと落ちにくくなりますので、お洗濯前に部分洗い洗剤などで処理をしておくとより効果的です。

洗濯物の入れかた

洗濯物はできるだけ均一に入れる

大物や水に浮きやすいものから先に入れる

● 布の動きがよくなります。
● 水の飛び跳ね防止のためです。

ジーンズなど厚手のものは均一によく押し込む(脱水中のはみ出しを防ぐためです)

● 「スタート/一時停止」ボタンを押し一時停止し、ふたを開けて上から手で押さえ、水を十分にしみ込ませてください。
● 水の飛び跳ね防止のためです。

お洗濯の前に

洗濯量と洗剤量について

⚠警告

下表以外の洗剤は使用しない。洗剤によっては、泡による弊害(水漏れや感電)が起こります
- 表内の「アリエール」「ボールド」の洗剤については、洗剤量(目安)表示より2割減らして使用してください。

洗剤は入れすぎない
- すすぎが不十分になったり、泡による弊害(水漏れや感電)が起こる場合があります。
  また、洗濯・脱水槽内に溶け残り、つまりの原因になることがあります。

ご注意 洗剤量(目安)表示は、コンパクト粉末洗剤(アタック)を基準にしています。
水量に対して必要な洗剤量や洗剤に同梱されているスプーンの大きさは銘柄によって異なります。

洗濯量	水量	コンパクトタイプ			粉石けん(天然油脂)
		粉末		液体	粉末(液体)
		水30Lあたり20g	水30Lあたり25g	水30Lあたり25mL	水30Lあたり36gおよび36mL
		アタック、トップ 部屋干しトップ ブルーダイヤ アリエール	アタック漂白剤IN ニュービーズ ボールド	液体ニュービーズ トップ浸透ジェル (柔軟剤入り)	そよ風
4.2kg	43L	29g	36g	36mL	52g(52mL)
2.5kg	37L	25g	31g	31mL	44g(44mL)
1.0kg	29L	19g	24g	24mL	35g(35mL)
0.5kg	20L	13g	17g	17mL	24g(24mL)

■洗剤量について

家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量(水30Lに対し○○g)が表示されていないものもあります。洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にしてください。
- 溶けやすい洗剤(アタック、トップなど)を使用してください。天然粉石けん、溶けにくい洗剤などはよく溶かしてから洗濯・脱水槽の中に入れて使用してください。
- コンパクト粉末洗剤(アタック)以外の洗剤の場合は、上の表に従うか、洗剤容器に記載されている「使用量の目安」をご参照ください。
- 軽い汚れの場合は、上の表の半分程度(5～6割)が適当です。
- 洗剤は適量をご使用ください。多すぎると、すすぎ効果・ソフト仕上剤の効果が落ちます。
- 水に溶けにくい洗剤は、溶かしてから入れてください。 ☞13

■洗濯量について

- 表の洗濯量はJIS(日本工業規格)で規定された布地を洗濯した場合のものです。
  洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗える量が変わります。
- 通常の衣類では洗える量は表示の7～8割が適当です。
  布の動きが止まるようであれば、洗濯物の入れすぎですので、布の動き具合を見て調節してください。

洗濯物の重さの目安

ブリーフ (木綿 約50g)

くつ下 (木綿 約50g)

タオル (木綿 約70g)

長袖アンダーシャツ (木綿 約150g)

ブラウス (混紡 約200g)

ワイシャツ (混紡 約200g)

バスタオル (木綿 約300g)

パジャマ(上・下) (木綿 約500g)

シーツ (木綿 約500g)

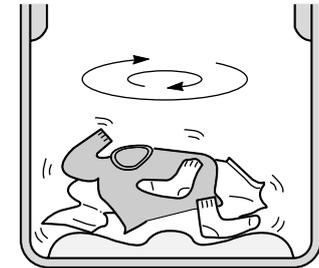
洗剤量(目安)表示について

洗濯物を入れて、お洗濯するコースを選び、スタートさせると、センサーが洗濯物の量を感知して洗剤量（目安)を表示します。(「標準」コース、「念入り」コース、「予約９時間後」コースのとき)

運転開始から洗剤量(目安)表示までの動き

1 ふたを開け、洗濯物を入れる

- 硬貨などを入れたまま洗濯すると故障の原因になります。

2 電源を入れ、「スタート」ボタンを押す

- 水の入っていない状態で、かくはん翼が回転し、洗濯物の量をはかります。(布いたみの心配はありません)

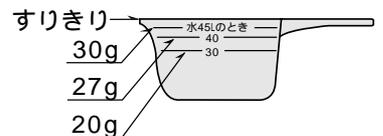
3 洗濯量に応じた洗剤量と水量を表示

- 洗濯量に合った洗剤量と水量の表示ランプが点灯または点滅します。

洗剤量(目安)表示と投入量について

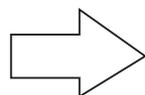
洗剤量(目安)表示は、コンパクト粉末洗剤(アタック)に同梱されている計量スプーンでの投入量を表しています。

- 洗剤量（目安）表示は、アタックを基準にしています。
  (洗剤メーカーや銘柄によって計量スプーンの大きさが異なるものがあります)
- その他の洗剤の場合は、☞ 10 をご覧ください。
- 洗剤は適量をご使用ください。多すぎるとすすぎ効果・ソフト仕上剤の効果が落ちます。
- 洗剤は入れすぎないでください。すすぎが不十分になったり、洗剤の溶け残りや泡による弊害が起こる場合があります。
- 溶けやすい洗剤(アタック、トップなど)を使用してください。天然粉石けん、溶けにくい洗剤などはよく溶かしてから洗濯・脱水槽の中に入れて使用してください。
- 詳しくは洗剤の表示に従ってください。

すりきり
30g
27g
20g
水45Lのとき
40
30

水量表示について

20～43L 間を洗濯量に応じて４段階に表示します。(詳しくは ☞ 10)

(無段階に設定されますが、表示は４段階で行います)

43Lのとき

スプーン８分目
(約29g) を入れてください。

液体洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤を使う

液体洗剤・漂白剤の使いかた

ご注意

- 電源を入れてから液体洗剤、漂白剤を静かに流し込んでください。
- 使用量および使いかたについては、液体洗剤、漂白剤の表示に従ってください。
- 漂白剤を直接洗濯物にかけないでください。
  変色、布破れの原因になります。

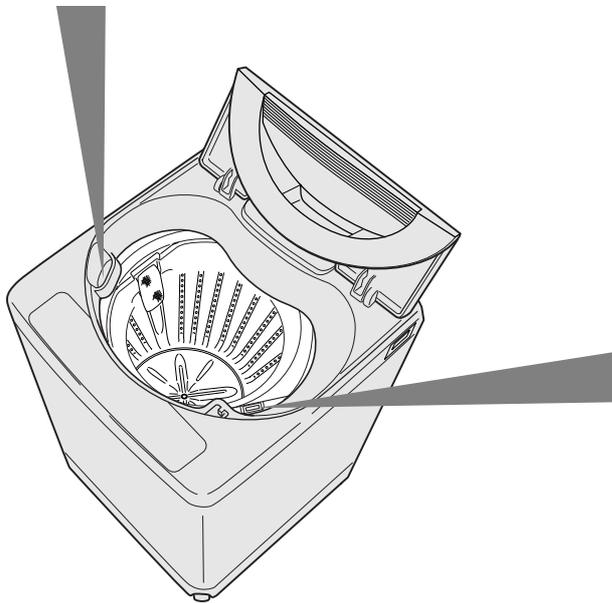
液体洗剤

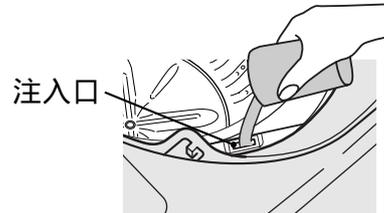
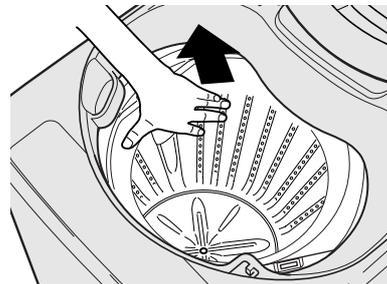
洗濯が始まる前に水でうすめて、注入口から静かに流し込みます。
(洗剤残りをなくすためです)

- 予約運転のときは、2倍にうすめてご使用ください。

漂白剤

洗濯が始まる前に水でうすめて、注入口から静かに流し込みます。

- 衣類にかかったときの色落ちを防ぐためです。

ソフト仕上剤の使いかた

1 洗濯が始まる前に水量表示に合わせてソフト仕上剤をソフト仕上剤注入口に入れてください。

- ソフト仕上剤が注入口に入れにくい場合は、洗濯・脱水槽を注入口の反対側に寄せてください。

2 ソフト仕上剤は最終すすぎの前に自動的に洗濯・脱水槽内に投入されます。

- ソフト仕上剤は、洗濯・脱水槽の回転を利用して投入する方式のため、注入口に入れた仕上剤は中間脱水のたびに注入口内の室を移動して見えなくなり、最終すすぎの前に洗濯・脱水槽内に投入されます。

〈ソフト仕上剤量の目安〉

水　量	20L	29L	37L	43L
濃　縮 タイプ	5mL	7mL	9mL	10mL
一　般 タイプ	14mL	20mL	25mL	29mL

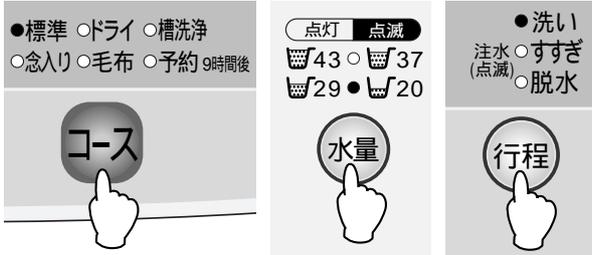
- 濃縮タイプ：水30Lに7mL使用の場合。
- 一般タイプ：水30Lに20mL使用の場合。

お願い

- 濃縮タイプは固まりやすいので、原液の入れた量の2倍の水でうすめてから入れてください。
- ソフト仕上剤の「1回の注入量」は30mL以下にしてください。これより多く入れても有効に働きません。
- ソフト仕上剤を注入したまま、長時間(12時間以上)放置しないでください。
  注入口の中で固化し、動作不良の原因となります。
- 洗濯機が傾いていたり、給水中に洗濯・脱水槽を傾けたりすると、注入口に水が入る場合があります。
  (仕上剤の効果が失われます)

粉石けん(天然油脂)を使う・お湯を使う

洗濯機で直接溶かす場合

1 電源を入れ、「標準」コースを選び、水量、洗いを設定し、「スタート」ボタンを押す。
「洗いのみ」の設定のしかた ☞ 23

2 給水後かくはんが始まったら粉石けんを入れる。

3 粉石けんが溶けたら、電源を切り、洗濯物を入れる。
- 洗濯物を十分、洗濯液に浸します。

4 再度電源を入れ、お好みのコースを選び「スタート」ボタンを押す。
- 水が入っていますので、洗剤量・水量は多めに表示されることがあります。その場合は、手動で水量を設定してください。 ☞ 22

粉石けんが溶けにくいとき

1 バケツなどに30℃ぐらいのぬるま湯を約５Ｌ用意し、かき回しながら適正量の粉石けんを少しずつ入れ十分に溶かす。

2 洗濯物を入れ、電源を入れお好みのコースを選び運転する。

3 給水後かくはんが始まったら、粉石けんが固まったり、粉が残ったりしないよう十分溶かした粉石けんを洗濯・脱水槽に入れる。

ご注意
- 粉石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎは十分行ってください。よくすすがないと黄ばみや、においの原因になります。
- 使用量が多すぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けん分がホースや洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
- 粉石けんを使うとき、合成洗剤を約１割混ぜると、石けんかす（金属石けん）の発生を抑えることができます。
- 合成洗剤のみの場合は、「洗濯機で直接溶かす場合」に記載の方法で運転しないでください。
  泡による弊害が起こる場合があります。

次の場合は粉石けんを使用しないでください。
- **予約運転のとき**
  洗濯・脱水槽内で固まる恐れがあります。
- **「毛布」「ドライ」コースのとき(液体洗剤を使用)**
  つけおき洗いにより、黄ばみや黒ずみの恐れがあります。

洗濯量と洗剤

お湯を使うとき(風呂の残り湯など)

電源を切った状態では、排水弁は開いています。下記の操作で排水弁を閉じてから、お湯を入れてください。

1 お湯をためる準備（排水弁の閉じかた）
(1) 電源を入れる。
(2)「スタート」ボタンを押す。
(3) 水量ランプが点灯したら電源を切る。

2 ふたを開け、洗濯・脱水槽に洗剤を入れ、洗濯物を入れる。

3 洗濯物が完全につかるまで、お湯を入れてふたを閉じる。
- 50 ℃以下のお湯をご使用ください。
- つけ置きする場合は、このまま放置してください。

4 電源を入れ、お好みのコースを設定して、「スタート」ボタンを押す。
- 所定の水量に達していない場合は、水道から給水されます。
- 水が入っていますので、洗剤量・水量は多めに表示されることがあります。
  その場合は、手動で水量を設定してください。
  ☞ 22

洗濯物の種類と全自動コースの選びかた

洗濯物の種類に適した全自動コースや洗剤の種類を選んで、上手なお洗濯をしましょう。

洗濯物の種類	全自動コース		使用の洗剤
一般の衣類	**標　準**	**洗濯物に適した内容で自動的に洗います。**	**粉末合成洗剤** **液体洗剤**
	予約9時間後	**お洗濯の終了時間を９時間後に設定して洗います。**	
汚れの多い衣類	**念 入 り**	**強めの水流で洗います。**	
ドライ、ドライ 手洗イ 表示の衣類 (1kg 以下)	**ド ラ イ**	**ドライ水流でやさしく洗います。**	**ドライマーク衣類専用洗剤** **液体中性洗剤**
大物衣類 (毛布類：シングル毛布 2.4kg 以下)	**毛　布**	**毛布水流でやさしく洗い上げます。毛布洗いネット「MO-F40」を使います。** ☞**38**	**液体洗剤**
衣類は入れないでください。	**槽 洗 浄**	**洗濯・脱水槽のお手入れを行います。** ☞**28**	**洗濯槽クリーナー** ☞**38** **酸素系漂白剤**

- 「予約９時間後」コースの洗濯行程は、「標準」コースと同じ内容です。
- 洗剤の使用量については ☞**10**
- 液体洗剤、漂白剤、ソフト仕上剤を使う場合は ☞**12**
- 粉石けん(天然油脂)を使う場合は ☞**13**

簡単おまかせお洗濯(「標準」コース)

センサーが洗濯物の量や質を感知して、洗濯物に適した内容で自動的に洗濯します。
(コースの内容は 26)

1 ふたを開け、洗濯物を入れて、電源を入れる

2 「コース」ボタンを押して「標準」を選び、「スタート」ボタンを押す

- 「風乾燥」ボタンを押して、風乾燥を設定することができます。24
- かくはん翼が回転して洗濯量を感知し、洗剤量と水量の目安を表示後、給水します。11

3 洗剤、ソフト仕上剤、漂白剤を入れ、ふたを閉める

- 液体洗剤、漂白剤、ソフト仕上剤を使うときは12
- 粉石けん(天然油脂)を使うときは13
- ふたが開いていると脱水が行われませんので閉めてください。

「標準」コースの動作について

給水

洗濯内容を決めるため、次の動作を行います。

低い水位でかくはん翼が回転します。

規定水位まで給水します。

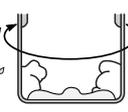
洗濯物の質を感知し洗濯内容を決めて洗いを始めます。

洗い

2ステップの洗いで、しっかりお洗濯。

ステップ1
少ない水で洗剤を溶かし濃いめの洗濯液で洗います。

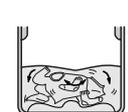
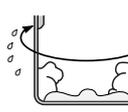
ステップ2
設定水位まで給水し、通常の洗剤濃度で汚れをしっかり落とします。

すすぎ

排水して脱水します。

ためすすぎ2回

規定水位まで給水します。

かくはんします。

脱水

洗濯のみ

排水して脱水します

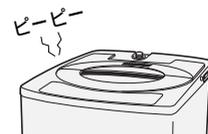
洗濯＋風乾燥(30分)

排水して脱水します

運転時間は「30分」になります。

洗濯終了

ブザーの音で、洗濯終了をお知らせします。

- ブザーが鳴り終わったら「ふたロック中」のランプが点滅して、電源が自動的に切れます。
  (オートオフ機能 34)
- ふたを開け、洗濯・脱水槽の中の洗濯物を取り出します。

強めの水流で洗う(「念入り」コース)

スポーツウェア、くつ下など汚れのひどい洗濯物を、強めの水流で洗います。

● **「念入り」コースの予約運転はできません。（コースの内容は ☞ 26）**

1 ふたを開け、洗濯物を入れて、電源を入れる

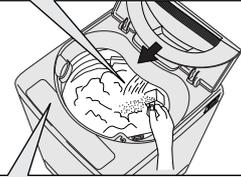
マッチ棒、ヘアピン、硬貨などは取り除く

2 「コース」ボタンを押して「念入り」を選び、「スタート」ボタンを押す

○標準 ○ドライ ○槽洗浄
●念入り ○毛布 ○予約 9時間後

コース

● 「風乾燥」ボタンを押して、風乾燥を設定することができます。☞ **24**
● かくはん翼が回転して洗濯量を感知し、洗剤量と水量の目安を表示後、給水します。☞ **11**

3 洗剤、ソフト仕上剤、漂白剤を入れ、ふたを閉める

● 液体洗剤、漂白剤、ソフト仕上剤を使うときは ☞ **12**
● 粉石けん(天然油脂)を使うときは ☞ **13**
● ふたが開いていると脱水が行われませんので閉めてください。

ドライマーク表示の衣類を洗う（「ドライ」コース）

お洗濯を始める前に

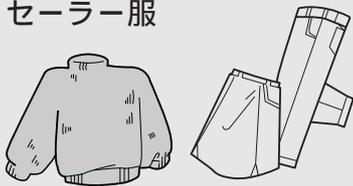
■**ドライマーク 手洗イ 、手洗いマーク ドライ の取り扱い絵表示のついた衣類を、ドライ水流でやさしく洗い上げます。**

- 素材によっては洗えないものもあります。
- 衣類に力をかけない洗いかたをしますので、脂汚れや泥汚れ、シミなどは前処理をしてください。
- **ドライコースの予約運転はできません。**
- **「ドライ」コースの風乾燥(☞25)はできません。**
- **お湯や風呂の残り湯は使用しないでください。**
  衣類の縮みが大きくなったり、入浴剤の色が移る恐れがあります。水を使用してください。
- **洗剤は適正な量を使用してください。**
  多すぎるとすすぎが不十分になり、衣類を傷める原因になります。
- **衣類は水の中によく押し込んでください。**

洗えるもの、洗えないものの確認

洗えるもの

衣類の取扱い絵表示　手洗い表示があるもの　または　ドライ表示があるもの

- セーター、カーディガン（ウール、アンゴラ、カシミヤなど）
- スラックス、スカート
- ブラウス、シャツ、ワンピース（絹、麻など）
- 学生服、セーラー服

※ ドライ 表示があっても、洗えないものがあります。
右の「洗えないもの」を参照してください。

洗えないもの

- 皮革製品、皮革装飾品
- 装飾物（羽、毛皮など）のついた衣類
- レーヨン、キュプラおよびその混紡品
- 色落ちしやすいもの
- 和服、和装小物
- ネクタイ、スーツ、コート
- コーティング加工、樹脂加工（接着剤を使用したもの）、エンボス加工（凹凸模様）をしたもの
- 絹、ウールなどで強くよじった糸（強撚糸）を使用したもの（特に織り柄）
- ベルベット、コーデュロイなどのパイル地
- 衣類の取扱い絵表示がないもの
- 防水性製品

ご注意　● 上記以外の衣類については、衣類の取扱絵表示や洗剤の表示に従ってください。

お洗濯物の準備

衣類の準備

- シミやひどい汚れは早めに処理してください。時間がたつと落ちにくくなりますので、お洗濯前に部分洗いをして処理をしておくとより効果的です。
- ボタンやししゅうがついている衣類は裏返にします。
- ボタンやファスナーは閉めてください。

色落ちの確認

- 色落ちしそうな衣類は、あらかじめ、色落ちの確認をしてください。白いタオルに洗剤液を含ませ、衣類の目立たない部分に強く押し当ててタオルに色移りしないか確認してください。
  色落ちがあった場合は、お洗濯しないでください。
- 色落ちしやすい衣類(スカーフ、外国製の衣類など)は十分に注意してください。

ドライマーク表示の衣類を洗う（「ドライ」コース）（続き）

脂汚れ、シミなどを落ちやすくする

えり、そでの脂汚れ

● えり、そで、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液をつけて、ブラシで一定方向にこすっておきます。

シミ

● 裏にタオルを当て、洗剤の原液をつけてブラシで軽くたたいておきます。

シミの抜きかたワンポイント

1 万一、衣類にシミがついた場合は、「3倍程度の洗濯液でつけおき洗い」をしてください。

※上記対応でシミが抜けないときは、下記のように市販の漂白剤をご使用ください。

2 漂白剤は、酸化型と還元型とに分けられ、さらに酸化型は塩素系と酸素系に分けられます。
各々、下記のような特徴があり、使えるものと使えないものがありますので、ご使用前に漂白剤の容器に表示してある注意書きをよくご覧になり、正しくご使用ください。

※酸化型
(1)塩素系(ハイター)：
漂白力、殺菌力はもっとも強いのですが、色物や毛・絹には使えません。
(2)酸素系(ワイドハイター、カラーブライト)：
色・柄物に使えますが、粉末の場合は毛・絹には使えません。

※還元型(ハイドロハイター)
水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、塩素系漂白剤のためにワイシャツの襟の芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。

使用する洗剤について

■使用する洗剤について

● 衣類の取扱い表示が（ドライ）表示のものは、ドライマーク衣類専用の洗剤(液体)を使用してください。
（手洗イ）表示のあるものは、中性洗剤(液体)も使用できます。
● 使用量は洗剤の表示に従ってください。
● 液体洗剤以外は使わないでください。

■漂白剤は使わないでください

● 漂白剤は強アルカリ性なので生地を傷めます。

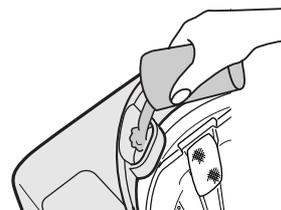
洗濯後、縮みが大きくなった場合のことを考えて、元の形に修正するために洗濯前の型紙を取っておくと便利です。

ご使用前に☞17をお読みください。「ドライ」コースの風乾燥運転はできません。

1 ふたを開け、洗濯物を入れて、電源を入れる

2 「コース」ボタンを押して「ドライ」を選ぶ

- 水量は自動的に「29L」になります。
- 洗える量は1kg以下です。
- 水量ボタン以外は受け付けません。

3 洗剤を入れ、ふたを閉め、「スタート」ボタンを押す

- 液体洗剤を水でうすめて(洗剤残りをなくすため)、液体洗剤注入口から静かに流し込んでください。
- 使用量などは、洗剤の表示に従ってください。
- 衣類は水の中によく押し込んでください。

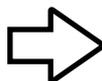
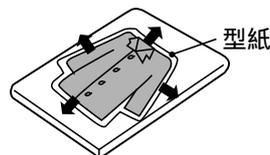
お洗濯が終ったら

■干しかた

- ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーターは、形を整えて日陰で平干しにします。
- 風呂のふたなど平らなものを使って平干しにすると形くずれが防げます。

- ブラウスやワンピースは形を整えて日陰でハンガーに干します。

■仕上げ（縮み、形くずれの直しかた）

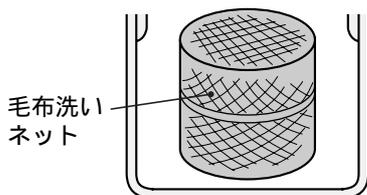
- スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。
- スチームをたっぷりあてたあと、型紙に合わせて元の形までのばし、形を整えます。

毛布を洗う(「毛布」コース)

- 「毛布」水流でやさしく洗い上げます。
- 毛布洗いネット「MO-F40」（別売り部品☞ 38）をご使用ください。
  洗濯物の飛び出しによる衣類や洗濯機の損傷を防ぐためです。
  (詳しくは毛布洗いネットの取扱説明書をご覧ください)
- 「毛布」コースの予約運転はできません。（コースの内容は ☞ 26）

■洗濯できる毛布の種類と重さ

- 手洗イ と表示されている毛布。
- アクリルまたはポリエステルのシングルサイズのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布
  (幅 140cm ×長さ 200cm 以下、1 枚の重さが 2.4kg 以下)
- 電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。

1 毛布を毛布洗いネットに入れ、洗濯・脱水槽に入れる

ファスナーをきちんと閉め、ファスナー部を上にして洗濯・脱水槽に入れてください。

- 汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤などで汚れを落としてください。

2 電源を入れ、「コース」ボタンを押して「毛布」を選ぶ

- 「風乾燥」ボタンを押して、風乾燥を設定することができます。☞ 24
- 洗濯中に毛布に水がしみとおらないときは、下に押し込んでください。

3 洗剤、ソフト仕上剤を入れ、ふたを閉め、「スタート」ボタンを押す

液体洗剤 39mL(水 30L あたり 25mL の洗剤の場合)を水で 2 倍にうすめてご使用ください。 ☞ 10

- 水量は自動的に「43L」になります。
- 粉末洗剤は溶けにくいので、使用しないでください。
- 液体中性洗剤をご使用ください。
- ソフト仕上剤を使うと、全体がふっくらと仕上がります。

4 洗濯が終わったら

風通しのよいところで自然乾燥させます。

M字形に干すと、
乾きが早くなります。

- 時々裏返すと、乾燥がより効果的です。
- 毛布は湿っているうちに、ブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。

予約運転を使って洗う（「予約９時間後」コース）

お洗濯の仕上がり時間を９時間後に設定して洗います。
出かけている間に洗いたいときや、夜間に洗って朝干したいときに便利です。

1 ふたを開け、洗濯物を入れて、電源を入れる

- 色移りしやすい衣類は、一緒にお洗濯しないでください。

2 「コース」ボタンを押して「予約９時間後」を選び、「スタート」ボタンを押す

- 洗濯行程は、「標準」コースと同じ内容です。
- 「風乾燥」ボタンを押して、風乾燥を設定することができます。☞ 24
- かくはん翼が回転し、洗剤量の目安を表示して止まります。☞ 11

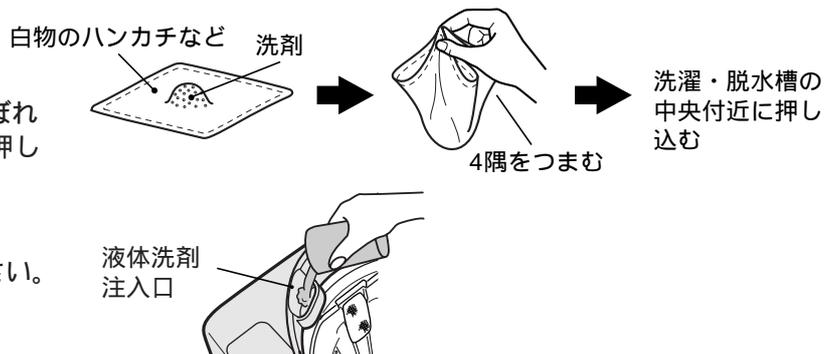
3 洗剤、ソフト仕上剤を入れ、ふたを閉める

洗剤の入れかた

コンパクト粉末洗剤

- 白物のハンカチなどに包み、洗剤がこぼれないように洗濯・脱水槽の中央付近に押し込んでください。

液体洗剤

- ２倍にうすめて、注入口に入れてください。

- **粉石けんは溶けにくいので使用しないでください。**

ご注意

- 電源プラグを抜いたり、停電したときは、予約運転は取り消されます。
- **洗濯物の量や質、給水量により終了時間がずれることがあります。**
- 衣類のしわ防止のため、洗濯が終わったらできるだけ早く干してください。

こんなときには

- **予約運転を取り消すとき：**電源を切る。
- **予約内容を確認したいとき：**「行程」ボタンを押している間、予約内容を確認できます。

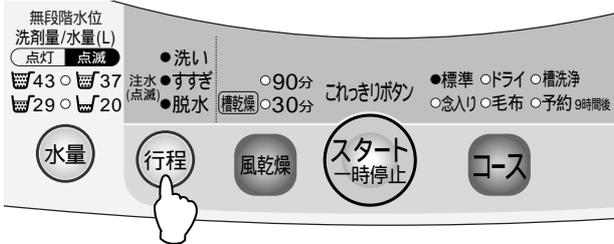
いろいろなお洗濯

お好みで洗濯する

「洗い」のみや「脱水」のみ、「注水すすぎ」などを設定したり、それぞれを組み合わせて運転することができます。

1 ふたを開け、洗濯物を入れる

2 電源を入れ、お好みのコースを選ぶ

3 お好みの洗濯内容を設定する

- 水量をお好みで設定したい場合は、「水量」ボタンで設定します。
- 「行程」ボタンで設定します。
  選びかたは、「行程ボタンの使いかた」を参考にしてください。☞23
- 「風乾燥」ボタンを押して、風乾燥を設定することができます。☞24

4 「スタート」ボタンを押す

- 設定した内容でお洗濯を始めます。

- 「風乾燥」ボタンを押したあとに、「行程」ボタンを押すと「風乾燥」は解除されます。再度、「風乾燥」ボタンを押すと「風乾燥」が設定されます。
- スタートしたあとは、行程を変更できません。行程を変えるときは、電源を入れ直してください。

洗濯終了

ブザーの音で、洗濯終了をお知らせします。

- ブザーが鳴り終わったら「ふたロック中」のランプが点滅して、電源が自動的に切れます。(オートオフ機能☞34)
- ふたを開け、洗濯・脱水槽の中の洗濯物を取り出します。

水量ボタンの使いかた

ボタンを押すごとにランプが点灯・点滅と移動します。

ちょっと一言

洗いやすすぎのかくはん中に水を足したいとき

「水量」ボタンを押し続けます。押し続けている間給水します。
(「43L」に達すると、それ以上は給水しません)

行程ボタンの使いかた

「行程」ボタンを押すごとに洗濯行程が下の表のように切り換わります。

こんな場合に	洗濯行程	行程ボタンの押し回数	ランプ表示（●点灯 ☀点滅）洗い	すすぎ	脱水	運転内容
● すすぎを注水にしたいとき	洗い → 注水すすぎ → 脱水	1回	●	☀	●	● すすぎが注水すすぎになります。
● 洗濯液を２度使う(再利用する)とき	洗いのみ	2回	●	○	○	● 洗いをしたあと、洗濯液は残ったまま停止します。
● しわが気になる洗濯物を脱水しないとき ● すすぎ液を再利用するとき	洗い → すすぎ	3回	●	●	○	● 洗い → すすぎをしたあと、すすぎ液は残ったまま停止します。
	洗い → 注水すすぎ	4回	●	☀	○	● 洗い → すすぎをしたあと、すすぎ液は残ったまま停止します。 ● すすぎは注水すすぎになります。
● 脱水だけするとき	脱水のみ	5回	○	○	●	● 洗濯・脱水槽内に水が残っているときは、排水してから脱水します。
● 洗濯・脱水槽の水を排水したいとき	排水のみ					● 脱水が始まったら、電源を「切」にしてください。
● 別に洗った洗濯物をすすいで脱水したいとき	すすぎ → 脱水	6回	○	●	●	● すすぎの前に排水して脱水します。
	注水すすぎ → 脱水	7回	○	☀	●	● すすぎの前に排水して脱水します。 ● すすぎは注水すすぎになります。
● どろ汚れ、ひどい汚れをあらかじめ落とすとき ● 水洗いするとき	洗い → 脱水	8回	●	○	●	● すすぎをせずに洗いと脱水を行います。

- **風乾燥ボタンを押したあとに行程ボタンを押すと、「風乾燥」は解除されます。**
  再度、風乾燥ボタンを押すと「風乾燥」が設定されます。
- **スタートしたあとは、行程を変更できません。行程を変えるときは、電源を入れ直してください。**
- **洗い時間、すすぎ内容、脱水時間は、コースにより異なります。**
  「標準」「念入り」「ドライ」「予約９時間後」コースの洗濯行程を参考にしてください。 ☞ 26
- **「注水すすぎ」を設定したとき、水漏れを防ぐためにセンサーが異常水位を感知し、注水が途中で停止する場合がありますが、異常ではありません。**

干し時間を短縮(「風乾燥」)

風乾燥を始める前に

- **ヒータを使わない風による乾燥方式です。**
  - ・風による乾燥を行う機能ですので、完全に乾く機能ではありません。干し時間の短縮が目的です。
  - ・温度が上がらないので、部屋の中がムシムシしません。
- **「30分」「90分」「120分」のいずれかに設定し、乾きに関係なく終了します。**
  - ・衣類の量・種類、気温・湿度・室内の換気状態、季節や設置環境によって乾き具合に差があります。
  - ・乾きムラがあるときは、追加運転を行うか、「部屋干し」あるいは「天日干し」をしてください。
- **洗濯・脱水槽内も風乾燥させるので、洗濯・脱水槽の黒カビを抑えます。** ☞29
- **乾燥できる洗濯物の量は、化繊1kgです。(ジャージなど)**
  - ・洗濯物の量が多すぎると効果が出ません。また、乾きムラの原因になります。
  - ・衣類を入れるときは、ほぐしてから入れてください。
  - ・化繊以外の種類の洗濯物では効果がありません。
- **風乾燥できない衣類**
  - ・「ドライ」コースで洗えないもの
  - ・くつ
  - ・色落ちしやすい衣類
  - ・取扱絵表示に ヨワク 表示がある衣類
  - ・のり付けした衣類

> ⚠ **注　意**
>
> **防水性のシートや衣類は風乾燥させないでください。**
>
> ●洗濯物が傷んだり、脱水中に異常振動してけがをする恐れがあります。

風乾燥ボタンの使いかた

風乾燥ボタンの押す回数	ランプ表示 ●点灯 ☀点滅	内　容	
1 基準点 (☞ 6)	○洗い 注水(点滅) ○すすぎ ○脱水 槽乾燥 ○90分 ●30分 これっきりボタン ○標準 ○ドライ ○槽洗浄 ○念入り ○毛布 ○予約 9時間後 / 行程 風乾燥 スタート一時停止 コース	●「風乾燥」(脱水のみ)「30分」	※選んだコースが解除され、風乾燥のみの運転となります。 ※「風乾燥」のみ設定時は、行程ボタンは受け付けません。
2	○洗い 注水(点滅) ○すすぎ ○脱水 槽乾燥 ●90分 ○30分 これっきりボタン ○標準 ○ドライ ○槽洗浄 ○念入り ○毛布 ○予約 9時間後 / 行程 風乾燥 スタート一時停止 コース	●「風乾燥」(脱水のみ)「90分」	
3	○洗い 注水(点滅) ○すすぎ ○脱水 槽乾燥 ●90分 ●30分 これっきりボタン ○標準 ○ドライ ○槽洗浄 ○念入り ○毛布 ○予約 9時間後 / 行程 風乾燥 スタート一時停止 コース	●「風乾燥」(脱水のみ)「120分」	
4	●洗い 注水(点滅) ●すすぎ ●脱水 槽乾燥 ○90分 ●30分 これっきりボタン ●標準 ○ドライ ○槽洗浄 ○念入り ○毛布 ○予約 9時間後 / 行程 風乾燥 スタート一時停止 コース	●選んだコースの風乾燥時間が「30分」になります。(洗いまたはすすぎ終了後に、風乾燥運転を行います)	

●スタート後は変更できません。

洗濯から風乾燥(30分)を設定する場合

■「標準」「念入り」「毛布」「予約9時間後」コースで設定できます。
■洗濯から継続して「風乾燥(30分)」を行います。

1 お好みのコースを選ぶ

2 お好みの水量を選ぶ

●「水量ボタンの使いかた」を参考にしてください。
22

3 お好みの行程を選ぶ

●「行程ボタンの使いかた」を参考にしてください。
23

4 風乾燥ボタンを4回押す

●「風乾燥ボタンの使いかた」を参考にしてください。24

●脱水のランプ表示の有無に関係なく、洗いまたはすすぎ終了後は風乾燥運転で、時間は「30分」となります。

洗濯から風乾燥設定後に、洗濯内容を変更する場合

風乾燥設定後

1 お好みの行程を選ぶ

●「行程ボタンの使いかた」を参考にしてください。
23

2 風乾燥ボタンを4回押す

●「風乾燥ボタンの使いかた」を参考にしてください。24

●「風乾燥(30分)」を設定したあと、「行程」ボタンを押すと「風乾燥(30分)」は解除されます。
再度、風乾燥ボタンを押すと、風乾燥が設定されます。

いろいろなお洗濯

洗濯行程について

各全自動コースの洗濯行程について説明します。
きめ細かな洗濯をするために、ちょっと複雑な洗濯行程内容になっています。
洗濯機が、今どの行程をどう動いているか知りたい方への情報です。

コースの種類	自動設定水位	洗 い(約)	すすぎ		脱 水(約)	所要時間(約)
標 準	43L ▽ 20L (無段階)	10分 / 8分	注水設定なし	ためすすぎ 2回	9分	47分 33分〜47分
			注水設定あり	ため+注水すすぎ 2回		
念入り	43L ▽ 20L (無段階)	12分 / 10分	注水設定なし	ためすすぎ 2回	11分	51分 37分〜51分
			注水設定あり	ため+注水すすぎ 2回		
ドライ	29L	6分	(ためすすぎ + 注水すすぎ) 1回		2分	19分
毛 布	43L	25分	ためすすぎ2回		11分	58分
槽洗浄	43L	135分	ためすすぎ2回		30分	190分
予約9時間後	43L ▽ 20L (無段階)	10分 / 8分	注水設定なし	ためすすぎ 2回	9分	47分 33分〜47分
			注水設定あり	ため+注水すすぎ 2回		

- **「標準」「念入り」「毛布」「予約9時間後」コースは、「風乾燥」ボタンで風乾燥(30分)を設定することができます。**
- **「注水すすぎ」を設定したとき、水漏れを防ぐためにセンサーが異常水位を感知し、注水が途中で停止する場合がありますが、異常ではありません。**

ちょっと一言

- 所要時間は、1回の給水時間を約3分（水量毎分15L、高水位のとき）とした場合で、水圧により変わります。
- 所要時間の▭内は標準状態の時間です。
- すすぎ行程では脱水を行い、すすぎ効果をよくします。
- すすぎ行程の所要時間の目安は「排水」1分、「脱水」2〜5分、「給水」2〜3分、「かくはん」2分で計算しています。
- 注水すすぎ に設定すると上表の「ためすすぎ」が「ため＋注水すすぎ」に変わります。
- 脱水行程の途中で一時停止を押し、再スタートした場合は、脱水をもう一度始めからやり直します。

ご注意 ● 水道水圧が高いと給水音が大きくなることがあります。音が気になる場合は水栓を絞ってお使いください。

コースの切り換えについて

スタートボタンを押したあとは、コースの切り換えはできません。

- コースを切り換えるときは、いったん電源を「切」にしてから行ってください。

洗濯液を2度使う・洗濯のりを使う

洗濯液を2度使うとき

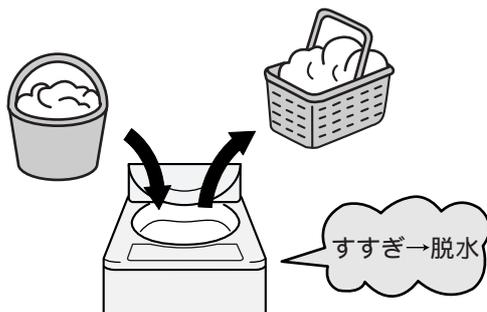
1 **1回目は汚れの少ない洗濯物を「洗い」のみ行う。** ☞23

- 水量に合わせて洗剤を入れます。

2 **2回目は汚れの多い洗濯物を入れ、1回目の洗い液を利用して、お好みのコースで洗濯する。**

- 洗濯物に応じた水量を設定します。☞22
  (水量を増した場合は、その分洗剤を追加してください)

3 **1回目に洗い終わった洗濯物を「すすぎ」→「脱水」する。** ☞23

- 1回目と同じ水量を設定します。☞22

洗濯のりを使うとき

■洗濯のりについて

化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAC)と表示されているものに限ります。

- 上記以外ののりは、洗濯機の故障の原因となる恐れがありますので、成分表示をご確認ください。

■洗濯のりの量

洗濯のりに表示されている分量を目安にしてください。

■のり付けできる量

1.0kg 以下

1 **電源を入れ、「標準」を選び、水量を「29L」に設定し、「スタート」ボタンを押す。**

2 **給水が始まったら、直接洗濯・脱水槽に洗濯のりを入れる。**

3 **洗濯のりが溶けたら電源を切り、のり付けしたい衣類を入れる。**

4 **再度電源を入れ、「標準」を選ぶ。**
- 水量は衣類の量に応じて調整してください。☞22

5 **ふたを閉め、「スタート」ボタンを押す。**

ご注意

- のり付けした衣類は、乾燥機で乾かさないでください。
- のり付けした衣類は、「風乾燥」運転をしないでください。
  (しわの原因になります)

のり付けしたあとは

残った洗濯のりを流すため、必ず洗濯・脱水槽を洗浄してください。

1 **電源を入れ、「標準」コースを選ぶ。**

2 **水量を「43L」に設定する。**

3 **ふたを閉め、「スタート」ボタンを押す。**

お手入れのしかた

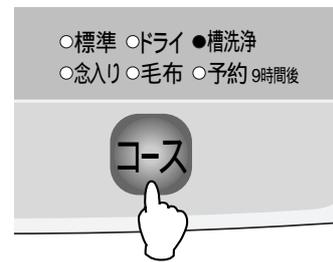
洗濯・脱水槽のお手入れ（清潔に洗濯するために）…「槽洗浄」コース

- **洗濯槽クリーナーは、直接洗濯・脱水槽に入れてください。**
- **石けんカスやカビがつきにくくなっていますが、長期間使用すると石けんカスが発生することがあります。**
  定期的なお手入れとして、2ヶ月に一度を目安に洗濯・脱水槽を洗ってください。

1 電源を入れる

2 洗剤を入れ、ふたを閉める

- 洗濯槽クリーナーは市販の塩素系漂白剤500mLを直接洗濯・脱水槽に入れてください。

3 「コース」ボタンを押して、「槽洗浄」を選び、「スタート」ボタンを押す

- 約3時間かけて、かくはんとつけ置きを行います。

ご注意

- ふだんお使いの洗剤は使用しないでください。洗浄効果がありません。
- 衣類は入れないでください。

お願い

- 漂白剤は、ご使用の漂白剤の注意書きをよくお読みになってお使いください。
- 石けんカスが発生した場合には、別売りの洗濯槽クリーナー(塩素系/1500mL)（☞ **38**）をご使用ください。
  (洗濯槽クリーナーの説明書に従ってご使用ください)
- 約40℃のお湯をご使用になると、さらに洗浄効果が上がります。

洗濯・脱水槽のお手入れ（清潔に洗濯するために）…「槽乾燥」コース

洗濯・脱水槽内を乾燥させることにより、黒カビの発生を抑えます。
黒カビが発生した場合は、市販の塩素系漂白剤(500mL)または洗濯槽クリーナー(塩素系/1500mL)(**38)**
を使って「槽洗浄」コースでお手入れしてください。 **28**

ご注意 ●洗濯・脱水槽の中に衣類は入れないでください。

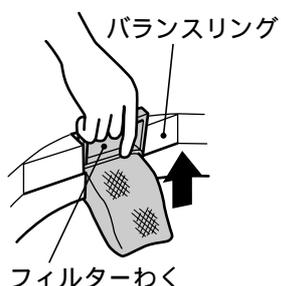
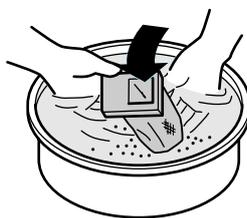
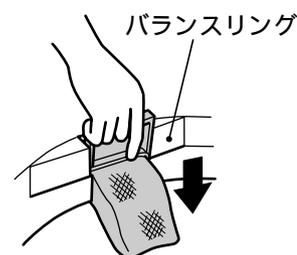
1 電源を入れる

2 「風乾燥」ボタンを押し、「スタート」ボタンを押す

●「風乾燥」ボタンを押して、槽乾燥「30分」に設定し運転してください。24

ご使用後は、次の手順でお手入れをしてください。

糸くず取りフィルターのお手入れ（毎回の洗濯ごとに行ってください。）

1 フィルターわくを外す。

2 フィルターを裏返して、糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす。

3 フィルターわくを確実に差し込む。

お願い

●糸くず取りフィルターは消耗品です。
ネットが破れたときは、販売店でお買い求めください。（部品番号NW-42N6-513） 38

お手入れのしかた（続き）

凍結の恐れのあるとき

1 **水栓を閉じる。**

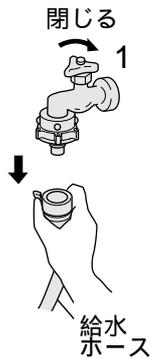
2 **「槽洗浄」コースを選び、「スタート」ボタンを押して運転する。**

3 **給水ホースを外し、下に向ける。**
- 給水ホース内に付着した水滴がたれるので、給水ホースの先にバケツなどの容器を置くかぞうきんなどで水を受けてください。

4 **30秒くらい運転して止める。**
- 給水ホース内の残水を抜きます。

5 **排水ホースを倒す。**

6 **「脱水」のみを設定して、30秒くらい運転する。** ☞ 23

7 **「一時停止」ボタンを押し、電源を切る。**
- 洗濯・脱水槽と排水ホース内の水を抜き、排水弁を開いたままにするためです。

もし凍結したときには

1 **給水ホースを外し、約40℃程度のお湯につける。**

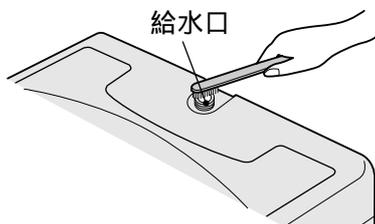
2 **約40℃程度のお湯を洗濯・脱水槽に2～3L入れて約10分間放置する。**

3 **給水ホースを水栓に接続し、洗濯機が給水、排水するか確認する。**

給水口のお手入れ

ごみがたまると水の出が悪くなります。

1 **水栓を閉じて、給水ホースを外す。（外しかたは** ☞ 33**）**

2 **給水口の網にたまったごみを、取り除く。**
- ごみが取れにくいときは、ラジオペンチなど先のとがったもので網を外して掃除します。

ご注意
- 外した網は元に戻してください。
  戻さないと給水弁の故障の原因になります。

本体のお手入れ

本体やパネル部の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。

⚠ 警　告

お手入れするときは、本体各部に直接水をかけない。
- ショート・感電の原因となります。

⚠ 注　意
- ベンジン、シンナー、クレンザー、アルカリ性洗剤、弱アルカリ性洗剤、ワックスなどでふいたり、たわしでこすらないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、注意書きに従ってください。
- 洗濯機のふたなどのプラスチック部分に洗剤がついたときは、すぐにふきとってください。
  放置すると傷むことがあります。

⚠ 注　意

断水後や一度給水ホースを外して再取り付けした場合は、水栓を閉め、「槽洗浄」コースを選んで、スタートボタンを押してからゆっくり水栓を開く（長期間使用しなかった場合も同様）
- 給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により、本体が破損し、水漏れやけがをする恐れがあります。

使用上のご注意

⚠ 注 意

電源

運転中は電源プラグを抜かない

- 故障の原因になりますので、一時停止あるいは電源を「切」にしてから、プラグを抜いてください。

禁止

洗濯物は入れすぎない

- 衣類が洗濯・脱水槽からはみ出して破れたり、プラスチック部品の破損の原因になります。洗濯量については☞10

禁止

洗剤は入れすぎない

- 多く入れても洗浄力はそれ程変わりません。
- 逆にすすぎが不十分になったり、洗剤の溶け残りや泡による弊害(水漏れや感電)や故障の恐れがあります。

禁止

脱水終了時、ふたのロックが解除されても洗濯・脱水槽が回っているとき

- ただちに使用を中止し、修理を依頼してください。

禁止

テレビやラジオを近づけない

- テレビに線が入ったり、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

鋭利な物でボタンを押さない

- 破損・故障の原因になります。

お 願 い

電源を切ったあと約10秒間(ふたロック中のランプが消灯するまで)は電源ボタンを受け付けません。

- 再度電源を入れたいときは、ランプが消灯してから、電源ボタンを押してください。

結露に注意

- 夏季など湿度が高いとき、冷水の使用で洗濯機の外側が結露し、床面をぬらすことがあります。
- この場合は、洗濯機用トレー(YT-1)の使用をお勧めします。☞38

入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従う

- 色移りや変色を防ぐためです。

ファスナーは閉める

- 衣類やファスナーの傷みを防ぐためです。

ジーンズなどの厚手の衣類だけをお洗濯すると、衣類の片寄りによって、安全スイッチが働きやすくなります。

漂白剤を使用したとき

洗濯時、漂白剤や次亜塩素酸ナトリウムなどの薬剤をご使用になったときは、十分(においが残らない程度)にすすいでください。

- 洗濯物に漂白剤などが残っているまま乾燥すると、本体の寿命を縮めます。

チャイルドロック(いたずら防止モード)について

万一のけがや小さいお子様の安全のため、本機では、いたずら防止モードを設定することができます。

ご注意 ●**電源を切ると設定が解除されますので、毎回設定を行ってください。**

運転中はつねにふたをロックするように設定できます。(いたずら防止モード)

- 電源を入れ、ふたを閉め「行程」ボタンを3秒以上押す。
  (ピッピッピッピーとブザーが鳴り、ふたロック中のランプが点滅します。)
  (スタート後にふたを開けるときは、一時停止ボタンを押してください。)
- 電源を切ると設定が解除されます。

据え付け

**洗濯機の据え付けは、お買い上げの販売店、または専門工事店にご依頼ください。
詳しくは、「据付説明書」をお読みください。**

⚠注　意

水漏れ

洗濯前は水道栓を開いて、水漏れがないか確認する。
- ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

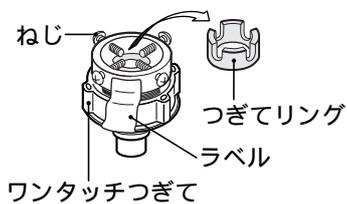
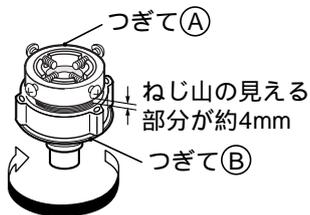
ワンタッチつぎての取り付けかた

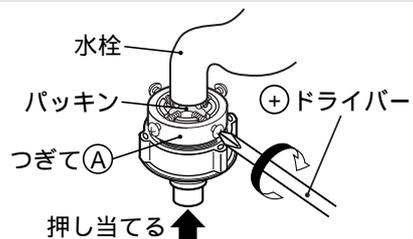
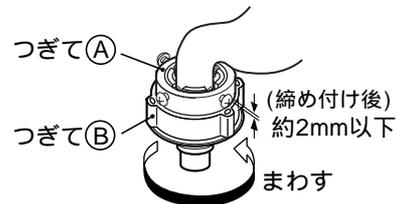
■ワンタッチつぎての取り付け

⚠注　意

水栓およびワンタッチつぎては、本体に触れない。
- 振動により水漏れの原因になります。

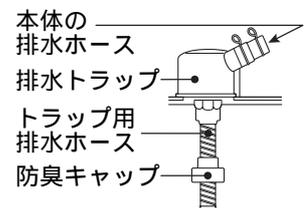
ワンタッチつぎてを使用し、つぎてⒷをしっかり締め付ける。
- 付属品以外のつぎてを使用すると、水漏れの原因になります。
- 長期のご使用でねじやつぎてが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合はさらに締め付けてください。

1 水栓の直径を確認する。
- 直径が18mm以上のときは、つぎてリングを外します。

2 つぎてⒶ、Ⓑとのすき間(約4mm)を確認する。
- つぎてⒷを矢印方向に回し、すき間を調節します。

3 つぎてⒶのねじ4本を水栓の幅まで緩め、水栓先端に押し当てる。

4 壁側になるねじを先に手で締め、水栓がパッキンの中心になるように、ねじを均等にしっかり締め付ける。

5 つぎてⒷを矢印方向に回し、つぎてⒶとⒷのすき間を約2mm以下にする。

- **2～5**の手順により取り付け直してください。付け直しても水漏れするような場合は、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り換えてください。
(転居のときなど、ワンタッチつぎてを取り付け直すときにも同じ作業を行ってください)

■排水口からのにおいが気になる場合

**排水口からのにおいを吸い込み、衣類にしみつく場合があります。
排水口からのにおいの吸い込みを防ぐために、「洗濯機用排水トラップ(YT-T1)」をご使用ください。** ☞38
- 据え付けにあたっては、「YT-T1」に同梱の取扱説明書に従ってください。

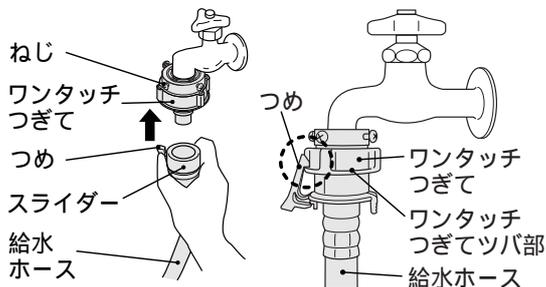
※排水トラップの設置には、排水、配管などの工事が必要です。

給水ホースの取り付けかた・外しかた

水　　栓

■取り付けかた

1 **スライダーを押し下げながら、ワンタッチつぎてに差し込む。**

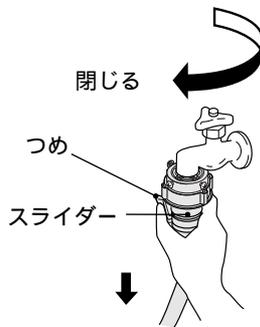
2 **スライダーを離して、「パチン」と音がするまで給水ホースを押し上げる。**

- 給水ホースのつめが、ワンタッチつぎてのツバ部に確実に掛かっていることを確認してください。
- 給水ホースをひっぱり、簡単に抜けないことを確認してください。

■外しかた

1 **水栓を閉じる。**

2 **「槽洗浄」コースを選び、「スタート」ボタンを押して約10 秒間運転する。**

- 外すときの水の飛び散りを防ぐためです。

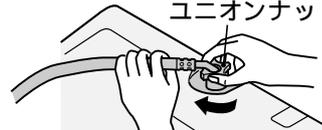
3 **つめを外し、スライダーを押し下げながら、給水ホースを外す。**

本　　体

■ユニオンナットの取り付けかた

ユニオンナットを矢印方向に回して、給水口にしっかり締め付けます。

⚠ 注　意

給水ホースの本体接続のユニオンナットはしっかり締め付ける。

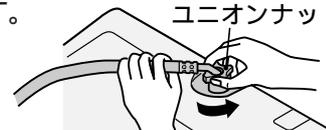
- 水漏れの原因になります。

- ユニオンナットの締め付けが十分でないと、水漏れします。

■ユニオンナットの取り外しかた

1 **水栓を閉じる。**

2 **「槽洗浄」を選び、「スタート」ボタンを押して約10秒間運転する。**

- 外すときの水の飛び散りを防ぐためです。

3 **ユニオンナットを矢印の方向に回して外します。**

⚠ 注　意

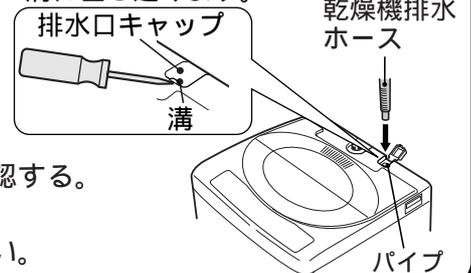
- 給水ホースおよびワンタッチつぎては、付属品を使用してください。
- 長期のご使用でねじ、ワンタッチつぎてやユニオンナットがゆるんだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。ゆるんでいる場合は、さらに締め付けてください。
- ねじやワンタッチつぎてをさらに締め付けたり、付け直しても不具合なときは、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り換えてください。

除湿形乾燥機と組み合わせるとき

1 **排水口キャップを外す。（洗濯機の右側後部）**

2 **内部のパイプに乾燥機の排水ホースを回しながら、奥まで差し込む。**

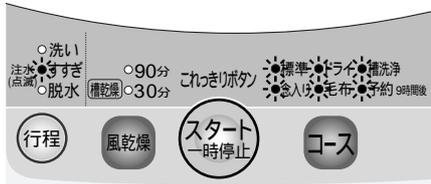
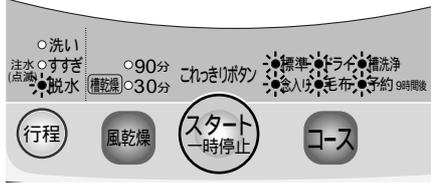
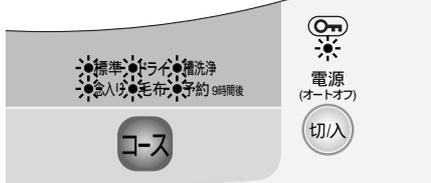
3 **乾燥機の排水ホースを引っ張ってみて、簡単に抜けないことを確認する。**

- 水栓につながないでください。
- 乾燥機運転時には、洗濯機の排水ホースを倒してご使用ください。

洗濯機用トレー(YT-1)のご推奨

水滴から床を守るために、「洗濯機用トレー（YT-1）」をご使用ください。 ☞ 38

故障かなと思ったら

異常報知について　(次のようなときは、ランプの点滅やブザーで異常をお知らせします)

表　示	お知らせ内容	点検するところ	処　置
	給水できない（25分たっても満水にならないとき）	● 給水ホースがきちんと取り付けてありますか。 ● 水栓が閉じていませんか。 ● 水道が凍結していませんか。 ● 断水していませんか。 ● 給水口の網にごみがたまっていませんか。	● スタート／一時停止ボタンを押して一時停止し、異常の原因を取り除いてからスタートしてください。
	排水できない（5分たっても排水が終わらないとき）	● 排水ホースを倒していますか。 ● 排水ホースがつぶれていませんか。 ● 排水ホースの先端が水につかっていませんか。 ● 排水ホースや排水口に砂やどろなどの異物が詰まっていませんか。 ● 内部の排水ホースが凍結していませんか。 ● 排水トラップ内に糸くずなどの異物が詰まっていませんか。	
	脱水しないとき	● 洗濯物が片寄っていませんか。 (洗濯物の片寄りの自動修正動作を2回繰り返しても直らない場合は、報知します)	● スタート／一時停止ボタンを押して一時停止し、洗濯物の片寄りを直し、ふたを閉じてから再びスタートしてください。
	ふたがロックできないとき	● ふたが開いていませんか。 ● ふたの下に異物が入っていませんか。	● ふたを閉じ、スタート／一時停止ボタンを押して一時停止し、再びスタートしてください。
	ふたロックが解除できないとき	● ふたの下に異物が入っていませんか。	● スタート／一時停止ボタンを押して一時停止し、再びスタートしてください。

● 上記以外の異常報知がある場合は、使用を中止して修理を依頼してください。

電源オートオフ

1．運転が終了すると電源は自動的に切れます。
2．次の状態で1時間以上放置されると、電源は自動的に切れます。
　①一時停止の状態
　②ふたを開けたままの状態で、「スタート」ボタンを押して放置した状態
　③上記のような異常報知状態
3．電源を入れて、「スタート」ボタンを押さないで、5分放置したときは
　電源は自動的に切れます。

修理を依頼される前に　次の点をもう一度お調べください

症　状	原　因
運転しない	●停電していませんか。 ●電流ヒューズ、ブレーカが切れていませんか。 ●電源プラグは確実に差し込まれていますか。 ●電源は入っていますか。 ●水栓は開いていますか。 ●予約を設定していませんか。 **21** ●「スタート」ボタンは押しましたか。
電源ボタンを「切」「入」すると受け付けないことがある	●ふたロック中ランプが点滅していませんか。 **7**
給水しない かくはんしない 脱水しない 排水しない	●「異常報知について」の点検するところを参照してください。 **34**
異常な音がする	●洗濯機が傾いたり、がたついていませんか。 **据付説明書** ●ヘアピンや金物など異物がまぎれこんでいませんか。
運転中ふたが開かない	●チャイルドロック(いたずら防止モード)の設定になっていませんか。 **31**
水漏れ	●水栓の形状は適していますか。 **据付説明書** ●ワンタッチつぎての取り付けやユニオンナットの締め付けが緩んでいませんか。 **据付説明書、および32**
終了ブザーが鳴らない	●終了ブザーを消す設定になっていませんか。 **7**
ブレーカーが作動する	●同一配線に冷蔵庫などほかの電気製品が接続されていませんか。 ●専用の 15A 以上のコンセントを使っていますか。

故障かなと思ったら（続き）

こんなときは故障ではありません

症　状	原　因
●初めて使用するとき、排水ホースから水が出る。	●工場の性能テスト時の残水です。
●スタート/一時停止ボタンを押してもすぐにふたが開かない。	●すすぎや脱水行程中では、運転を停止させてから、ふたロックが解除されます。(約5秒～約1分30秒後) ☞7
●電源ボタンを「入」「切」したときに、ふたロック中ランプが点滅する。	●クラッチの切り換え動作をしているためです。 ☞7
●ふたがロックされている。	●チャイルドロック（いたずら防止モード ☞31）が設定されて、運転中に停電または電源プラグを抜くと、ふたがロックされたままになっています。電源を入れるとふたロックが解除されます。
●洗濯の途中で給水する。	●洗濯中に水位が下がると、自動的に水が補給されます。
●給水ホースをセットして、水栓を開くと水栓から少量の水が出る。	●ウォーターハンマー低減弁を使用しているため、弁の閉止に時間がかかるためです。
●洗濯・脱水槽を手で動かすと、「シャワシャワ」という音がする。	●脱水時の振動を低減するためのバランスリングの水の音です。
●糸くず取りフィルターから、水が流れ出ない。	●「ドライ」コースで運転している場合も、かくはん翼の回転数が下がったり、水位が低く設定されたりしますので、糸くず取りフィルターから水が流れ出ないことがあります。
●注水すすぎを設定してもためすすぎになる。	●排水状態が悪い場合、洗濯・脱水槽の上部からの水あふれを防止するため、自動的にためすすぎに切り換わります。
●注水すすぎの途中で注水が停止する。	●水道水圧、排水条件のバラツキによる水漏れを防止するためです。(水位センサーが異常水位を検知し、注水を停止します)
●脱水の最後やスタート/一時停止ボタンを押したときにブーンという音がする。	●洗濯・脱水槽の回転を電気的に停止させるためのブレーキの音です。
●脱水のはじめにカチャ、カチャと音がする。	●洗濯モードから脱水モードへの切り換えの音です。
●脱水のはじめにモータの音色が変化する。	●本機では、脱水の効率を上げるため、2種類の回転数が得られるモータを採用していますので、この切り換えの際、音色が変化します。
●最後の脱水時に、脱水が止まり表示がすすぎになって給水する。	●洗濯物が片寄って、安全スイッチが働いたためです。給水・かくはん運転を行い、布の片寄りをほぐしたあと再度脱水します。
●脱水の初めに間欠的に脱水する。	●脱水を効果的に行うためです。
●バケツなどで給水しても排水されてしまう。	●通常は排水弁は「開」で停止しています。「お湯を使うとき」の操作を参照してください。 ☞13

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後６年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」☞38にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

34～36ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	全自動電気洗濯機
形　　名	NW-42FF
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院、また、寮や病院など、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換（クラッチ、ベルト、プーリー、フィルターなど）が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。

●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

愛情点検

★長年ご使用の洗濯機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 洗濯・脱水槽が止まりにくい。
- 水漏れがする。（ホース、水槽、給水つぎて）
- 焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- 本体にさわるとピリピリ電気を感じる。
- 据え付けが傾いたりグラグラしている。
- 電源を入れても、動かないときがある。
- タイマーが途中で止まることがある。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- その他の異常・故障がある。
- 電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

保証とアフターサービス（続き）

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

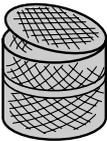
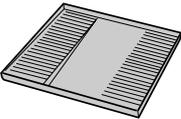
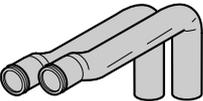
修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87
(受付時間) 365日／9:00～19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34
(受付時間) 9:00～17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

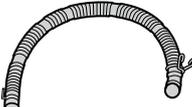
別売り部品

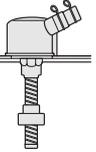
日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2006年4月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

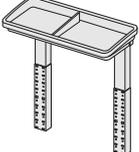
■毛布洗いネット
（MO-F40）
希望小売価格
2,940円 (税抜2,800円)

■洗濯機用トレー
（YT-1）
- 結露による水滴から床を守ります。
希望小売価格
7,350円 (税抜7,000円)　(幅640×奥行640×高さ30mm)

■直下排水L型パイプ
（HO-P5）
希望小売価格
1,050円 (税抜1,000円)

■全自動専用設置台（UP-D3）
- 本体を高くするとき、および防水パンに入らないときの設置に使用します。
希望小売価格 5,250円 (税抜5,000円)

■L形給水つぎて
（部品番号 PF-4100-029）
- 給水ホースが急に折れ曲がるような洗面台など、狭い所で使用するときに使います。
希望小売価格410円 (税抜390円)

■付属ホースつぎて
（部品番号 PF-4100-630）
- 洗濯機専用の水栓がないとき、ワンタッチつぎてに市販のビニールホースを取り付け、庭に散水するときに使います。
希望小売価格 630円 (税抜600円)

■延長排水ホース(約80cm)
（部品番号 KW-50K1-023）
- 排水ホースの延長用に使用します。
希望小売価格 840円 (税抜800円)

■糸くず取りフィルター
（部品番号 NW-42N6-513）
希望小売価格
525円 (税抜500円)

■洗濯機用排水トラップ（YT-T1）
- 排水口からの逆流やにおいを防ぎます。
希望小売価格
4,200円 (税抜4,000円)

■洗濯槽クリーナー（SK-1）
（塩素系/1500mL）
- 洗濯・脱水槽に付着した石けんカスなどの汚れを落とすときに使います。
希望小売価格 2,100円 (税抜2,000円)

■べんり棚（BD-1）
オープン価格
（幅570×奥行195mm）

- 上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

種　　類	全自動電気洗濯機	消費電力	385/450W（50/60Hz）
電　　源	100V、50/60Hz共用	洗濯方式	うず巻式
標準洗濯容量	4.2kg	水道水圧	0.03～0.8MPa （0.3～8kgf/cm²）
標準脱水容量			
標準水量	43L（「標準」コース）	外形寸法	幅538mm×奥行508mm ×高さ965mm
標準使用水量	124L(標準コース)	質　　量	約26kg

このマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル）の6物質）の含有率が基準値以下であることを示しています。
（規定の除外項目を除く）　JIS C 0950

詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　電話（　　）　-

ご購入年月日　　年　　月　　日

廃棄時にご注意ください。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03)3502-2111

3-K4729-1B
D6(LS)
3-K4732-2B